

2008年度(第2四半期連結累計期間) 決算説明会資料

NECネットワークスアイ株式会社

2008年11月11日

NEC Networks & System Integration Corporation

目次

1. 第2四半期 決算概要

2. 通期業績見通し

ご参考資料

1. 第2四半期 決算概要

[2008年度(2Q累計)決算の概況]

・売上減なるも、経常利益、四半期純利益は、**過去最高益を達成**

(単位:億円)

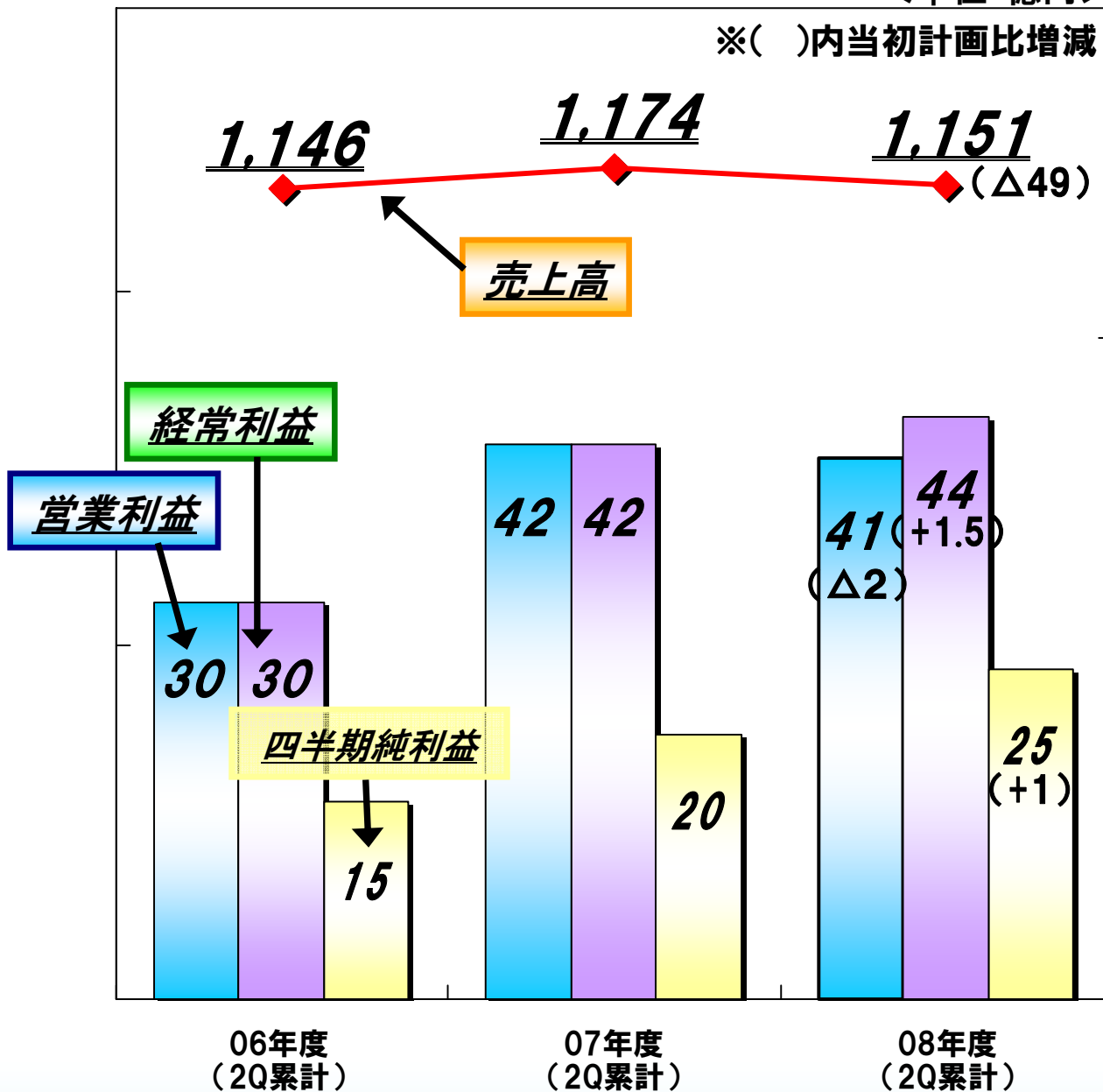
	07年度(2Q累計)		08年度(2Q累計)		増減率
		売上比		売上比	
売上高	1,174	100.0%	1,151	100.0%	△1.9%
売上総利益	161	13.8%	160	13.9%	0.1ポイント改善
営業利益	42.3	3.6%	41.4	3.6%	△2.2%
経常利益	42.3	3.6%	44.4	3.9%	5.0%
四半期純利益	20.4	1.7%	24.8	2.2%	21.8%

※本資料中の2Q累計の前年同期比増減に関する数値、増減率は参考値であります。

売上高・損益推移(連結)

<単位:億円>

※()内当初計画比増減



◆ **売上高**
 前年同期比 : Δ1.9%
 (計画比 : Δ4.1%)

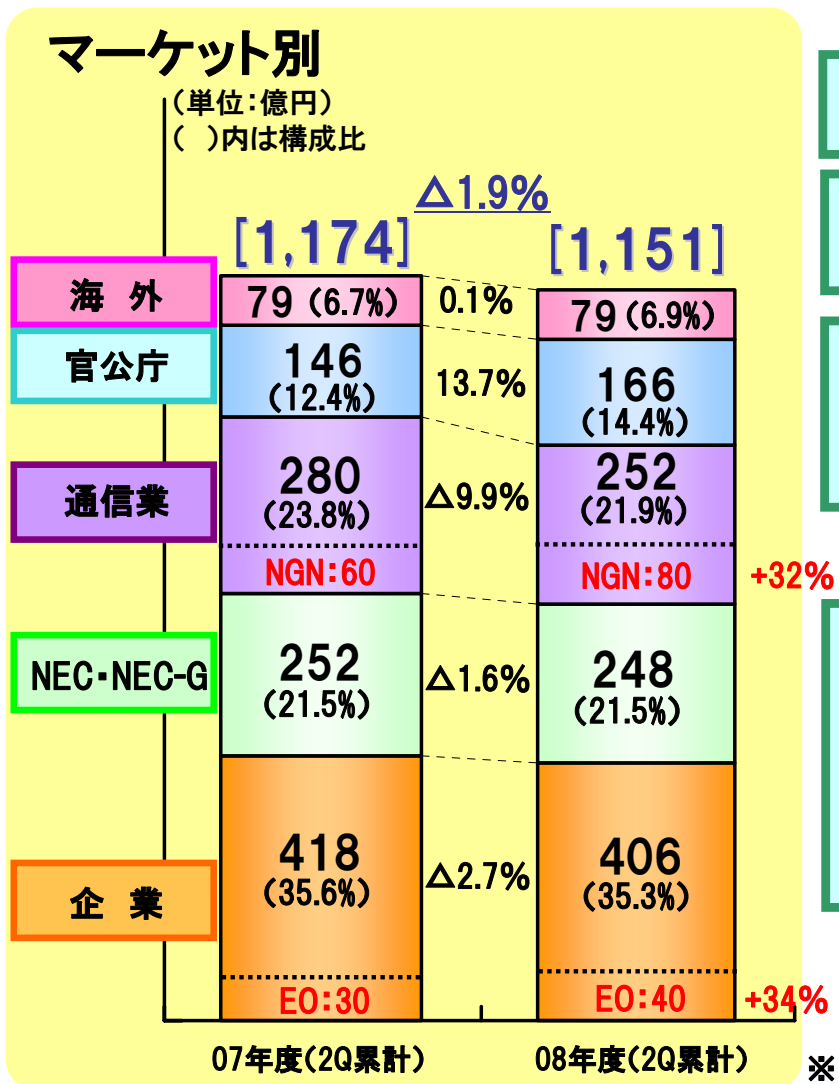
◆ **営業利益**
 前年同期比 : Δ2.2%
 (計画比 : Δ3.8%)

◆ **経常利益**
 前年同期比 : 5.0%
 (計画比 : 4.5%)

◆ **四半期純利益**
 前年同期比 : 21.8%
 (計画比 : 3.5%)

● 連結売上高(マーケット別)

EmpoweredOfficeを軸とした企業向けソリューション事業、
NGN事業等の注力分野が順調に拡大

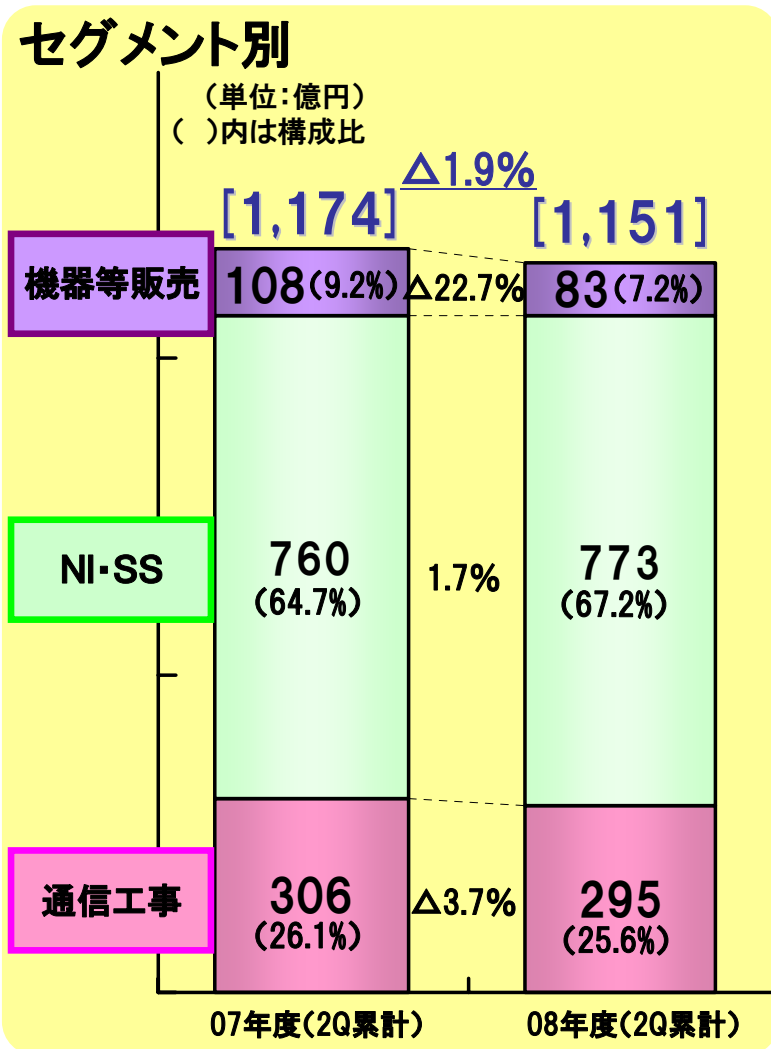


- 海外** ・サウジ、東南アジア向け通信インフラ関連継続
- 官公庁** ・地域情報化関連、宇宙関連堅調
- 通信業** ・NGN事業拡大(約60億円⇒**約80億円**)
・移動体関連減少
- 企業** ・金融業向け減少(約3割減少)
・EO※を軸としたソリューション事業拡大
(EO実績:約30億円⇒**約40億円**)
・関西エリア強化(ニチワ社グループ化)

※ EO:EmpoweredOffice(企業向けトータルオフィスソリューション)
コミュニケーション・インフォメーション・ファシリティ(C+I+F)融合のオフィストータルソリューション

● 連結売上高(セグメント別)

・NI・SS事業が注力分野で拡大(企業、NGN関連など)



※ NI・SS:ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業

NI・SS

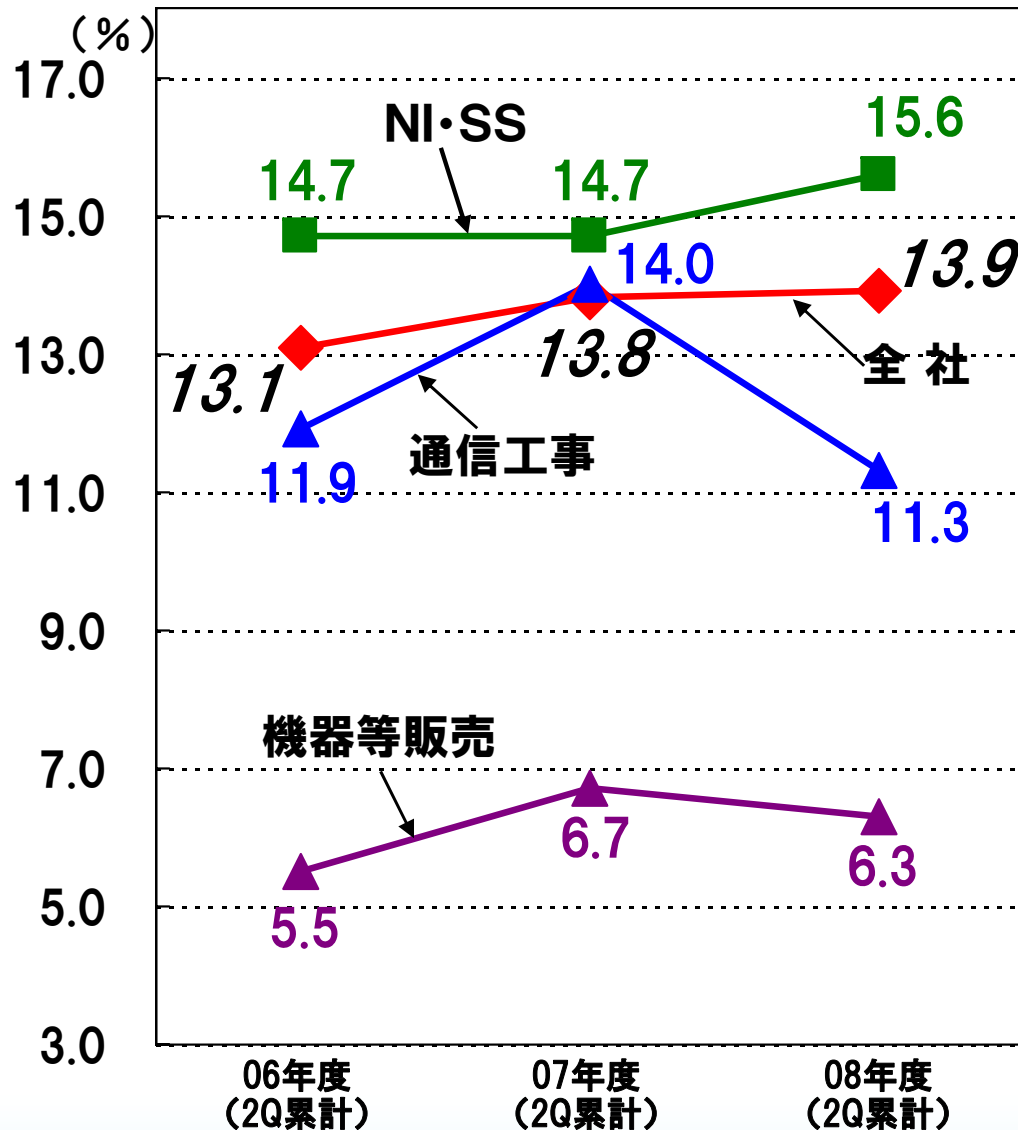
- ・注力事業拡大
⇒企業向けE0事業
⇒通信業向けNGN事業
- ・サポートサービス事業堅調
- ・ニチワ社グループ会社化

通信工事

- ・自治体、海外向け堅調
- ・移動体基地局工事減少
- ・CATV前期大型物件の反動減
⇒地デジ対策に向け今後も投資継続

● 連結売上高総利益率(セグメント別)

● AC-I※活動推進でGP率改善



NI・SS

- ・SIプロセス改革寄与

通信工事

- ・移動体基地局工事悪化
⇒原価低減不足を3Q以降でリカバー
- ・放送スタジオ等高収益P/J一巡

機器等販売

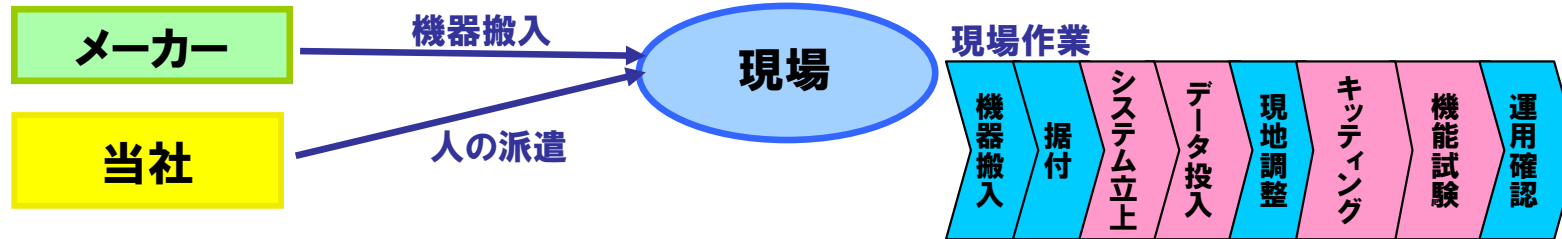
- ・機器調達コスト上昇等

※AC-I: All Cost & Management Innovation

● 実行施策

SIプロセス改革(総合SIセンター設立)

従来:現場毎に個別作業、対応が無駄が発生



生産革新(SIプロセス改革)

総合SIセンター(センター統括型)

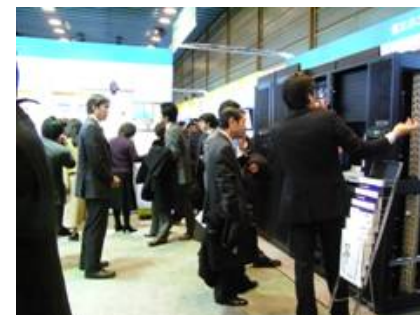


集中・集約による効率化、品質向上を実現

● 実行施策

EmpoweredOfficeを軸に顧客密着度の向上・加速

- ・フェア、セミナー等プロモーション活動強化



当社主催フェア
(Customer's Fair)

- ・体感型デモ提案による顧客開拓
(E0センター、NGNラボ、nTOC※等)

→開設以来、延べ750社・2,500名来社



E0化オフィス

- ・社内E0化推進(営業→SI部門へ拡大)

⇒オフィスのショールーム化によるお客様訴求向上

⇒E0化によるワークスタイル革新で

「第9回テレワーク推進賞」受賞



テレワーク推進賞受賞

※nTOC:Network Total Operation Center
今年4月開設のネットワーク統合オペレーションセンター

2. 通期業績見通し

2008年度連結業績予想

当初計画通り、増収増益を計画

(売上高:2,650億円、営業利益:110億円)

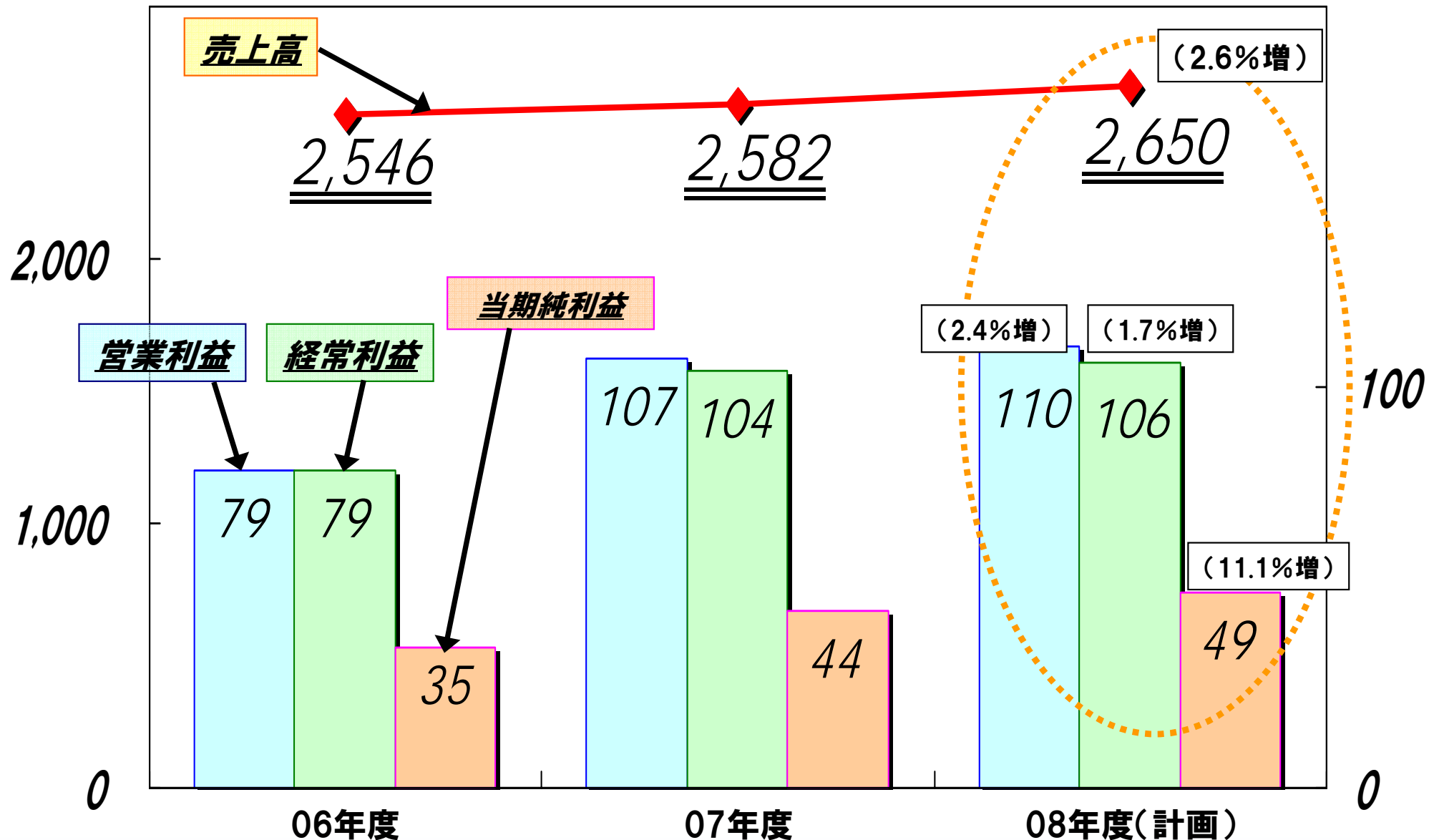
(単位:億円)

	07年度		08年度(計画)		増減率
		売上比		売上比	
売上高	2,582	100.0%	2,650	100.0%	2.6%
売上総利益	356	13.8%	371	14.0%	0.2ポイント改善
営業利益	107	4.2%	110	4.2%	2.4%
経常利益	104	4.0%	106	4.0%	1.7%
当期純利益	44	1.7%	49	1.8%	11.1%

2008年度の連結業績予想につきましては、
当初予想(2008年5月14日公表)と変更ありません。

売上高・損益推移(連結)

(単位:億円)



マクロ環境

金融危機による実体経済悪化リスク拡大
企業倒産・大型M&Aの増加

当社事業領域の動向

- 企業** : ICT利活用の進化(IT/NW融合・アウトソーシング・SaaS)
金融機関、輸出産業における投資先送り懸念
アナログ放送終了への取組み加速(放送・CATV)
- キャリア** : 国内NGN整備の本格化
新モバイル技術への取組み拡大(WiMAX、LTE)
- 官公庁** : ICT利活用による地域変革(u-JapanからxICTへ)
- 海外** : 新興国・資源国等のブロードバンド&モバイル化進展
- その他** : 環境ビジネスの拡大

成長領域への対応力強化、経営改革活動実行

I

成長領域への対応力強化

企業マーケット、キャリア事業強化・拡大、自治体・公共マーケット取り組み強化

II

AC-I 活動加速

マネジメントイノベーションによる収益向上 ⇒ 「AC-I+活動」へ

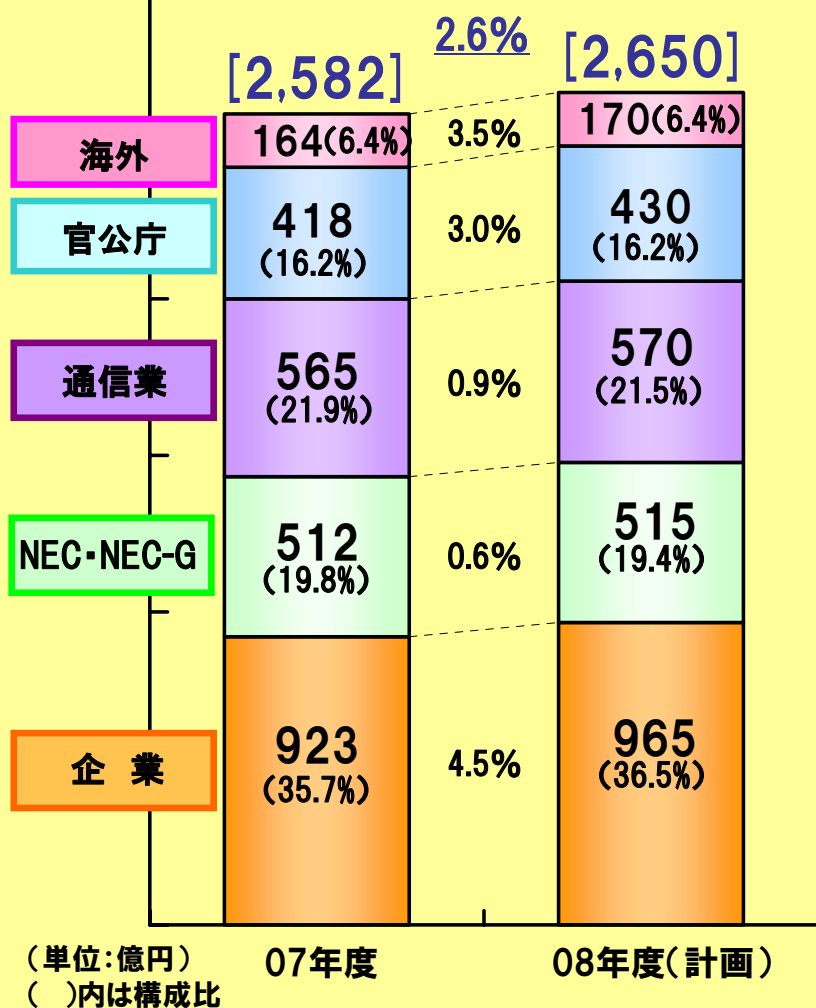
III

CSR活動推進

社会貢献・環境活動推進と積極的な情報開示

● 連結売上高計画(通期)

マーケット別



海外 ・モバイル・ブロードバンド化への対応強化

官公庁 ・拡大する地域情報化、ナショナルセキュリティ
・対策強化への対応力・体制強化
(詳細・次ページ以降)

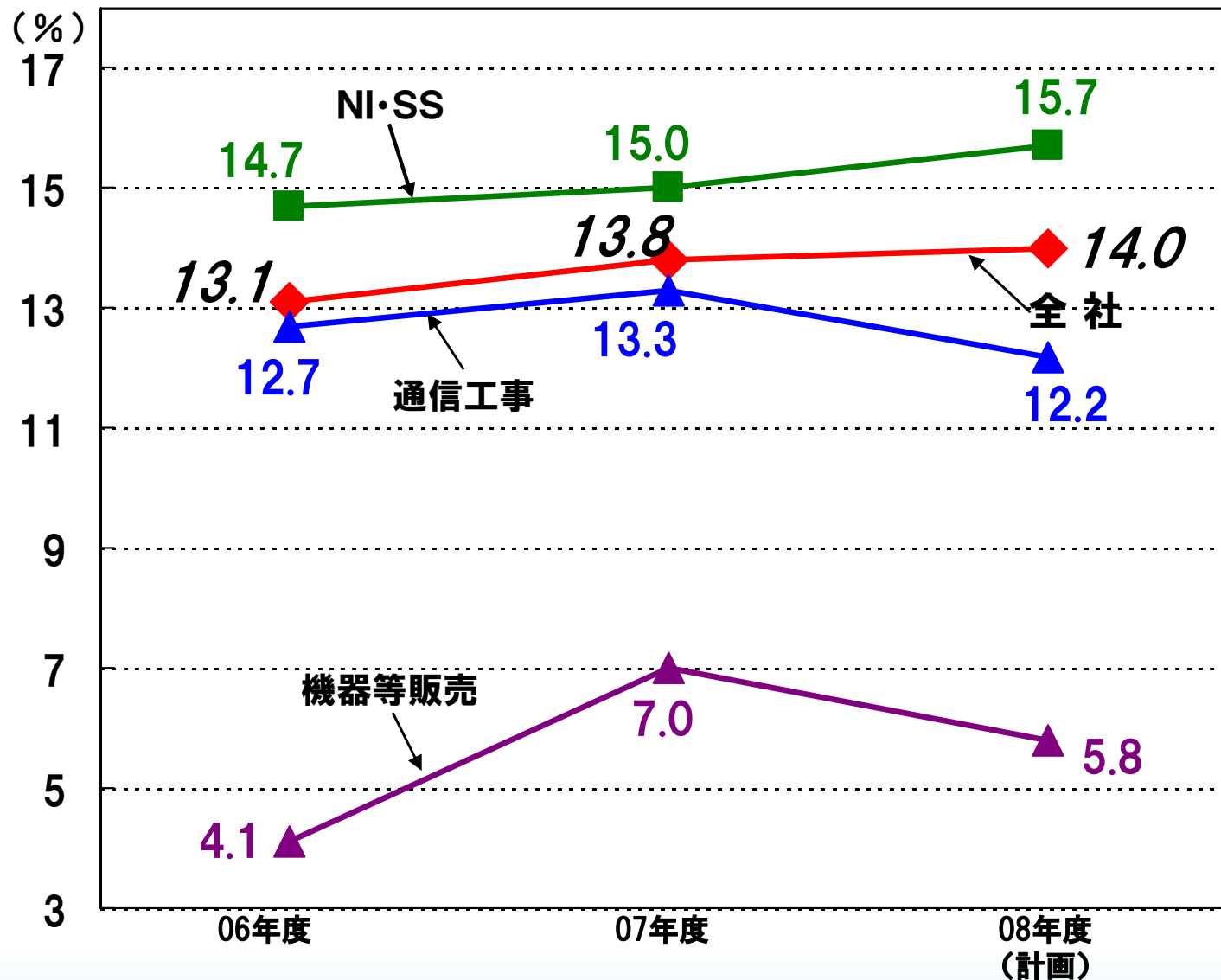
通信業 ・NGN事業力強化(人材育成)
・モバイル事業対応力・収益力強化
(詳細・次ページ以降)

企業 ・顧客密着活動推進、既存パーク総点検
・提案、導入から運用・アウトソーシングへの
連携ビジネスの強化・推進
(詳細・次ページ以降)

● セグメント別GP率計画

・マネジメントイノベーションによる活動加速

⇒「AC-I+活動」



企業マーケット領域

EmpoweredOfficeを軸とした事業拡大

EmpoweredOffice

EmpoweredOffice
センター

nTOC、pDOC開設による
サービス基盤強化



SiDC
データセンター

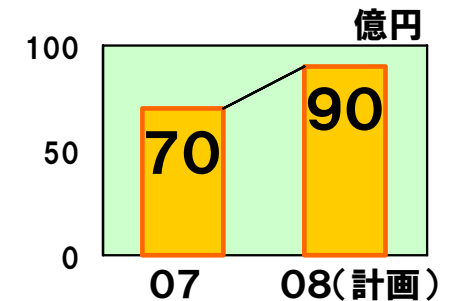
ビジネス拡大に向けた ソリューションメニュー継続投入

- ⇒ ネットワーク/サーバ仮想化
- ⇒ セキュリティ・シンクライアント
- ⇒ 環境関連 など

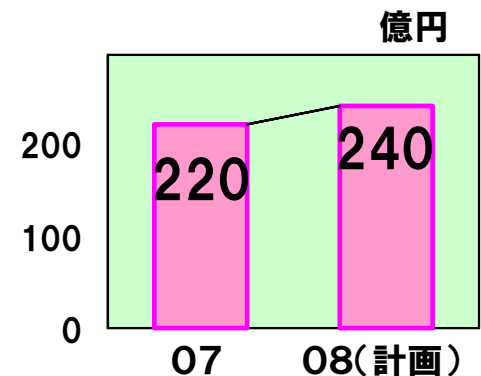
サポートサービス基盤ベースに E0サービスメニュー拡充

- ⇒ 運用・監視
(ネットワーク・セキュリティ)
- ⇒ IT資産管理サービス
- ⇒ IPセントレックス

EmpoweredOffice
売上高計画



企業向けサポートサービス事業
売上高計画



企業マーケット領域

システム提案・導入から運用・アウトソーシングの連携強化・推進

お客様のICTシステムのライフサイクルに合わせたマネジメントサイクル

EmpoweredOffice(提案・導入)

EmpoweredOfficeセンター



サービス基盤

(運用監視・保守・アウトソーシング)

nTOC

network Total Operation Center

pDOC*

Parts Delivery Operation Center



SiDC

Strategic internet DataCenter

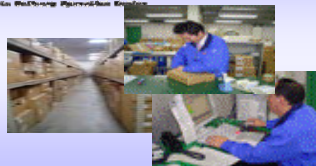
SI基盤

総合SIセンター

次世代型SIセンター



pDOC 11月開設



従来の保守用品デポセンター(補充拠点)とパーツセンター(配送拠点)を統合デリバリー改革を実践する統合デリバリー・オペレーション・センター

拡大するNGN市場への対応力強化

当社NGN事業

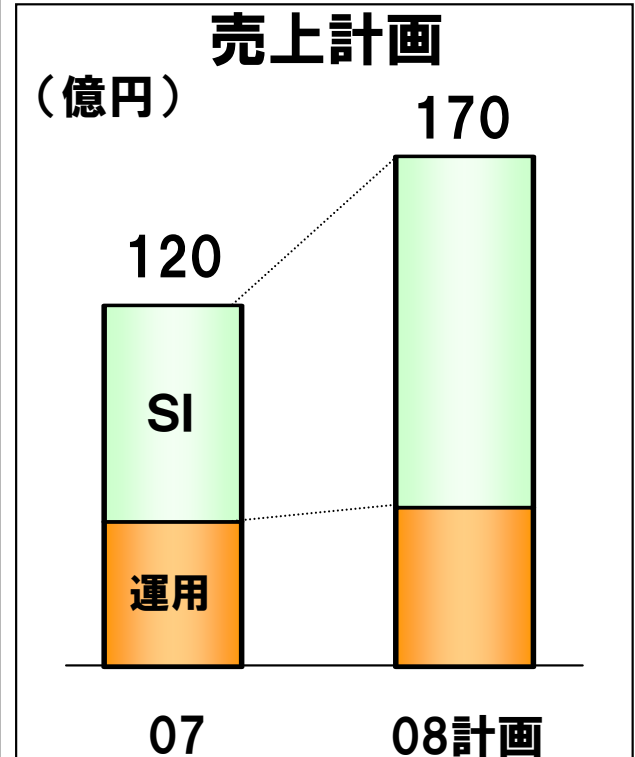
NGN構築
コアシステム
NWフルIP化等

NGNシステム運用
システム運用・保守
全国対応

◆体制強化
(NGN人材育成加速)
08年度:320名育成
10年度目標:1,300名

◆プロセス改革
によるSI力向上
(NW設計工程自動化等)

◆NGNシステム
保守体制強化



キャリア事業(モバイル領域)

基地局工事対応力による収益力強化

・プロセス改革による効率化推進

⇒置局・工事設計自動化による工数削減、品質向上

(WiMAX※、LTE※へも展開)

・閉空間事業(2事業者向けシェアNo.1)拡大による収益向上

当社の閉空間事業

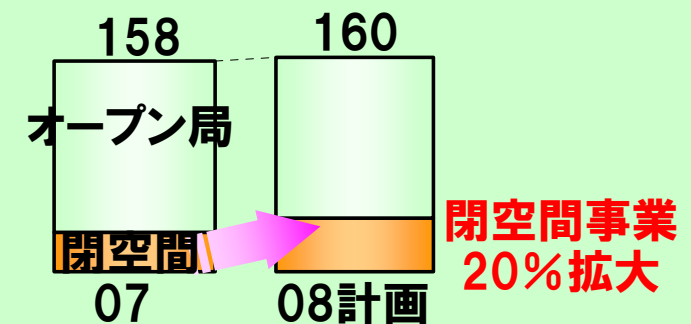
地下街・空港、デパート等屋内での通話品質対策

1998年の閉空間対策開始当初から参入

閉空間基地局
(施工局数：約1,000局)

置局ノウハウ、工事品質等で競争優位性発揮

売上計画(億円)



・次世代領域(WiMAX、LTE)の技術者育成

WiMAX: Worldwide Interoperability for Microwave Access 次世代高速無線通信技術の国際的な標準規格の一つ。

LTE : Long Term Evolution 現行の第3世代携帯電話(3G)のデータ通信方式を進化させた高速なデータ通信仕様の一つ。

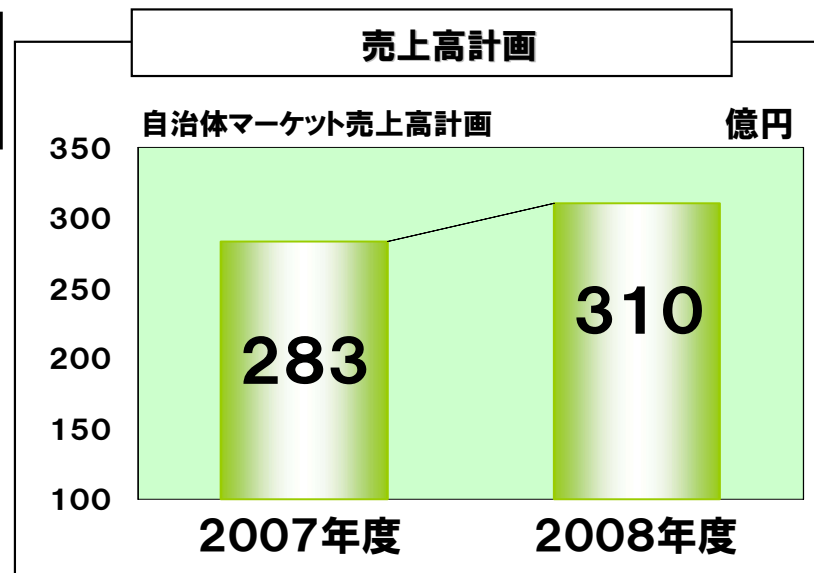
自治体マーケットの動向

◆地域情報化事業

- ・ブロードバンド化、デジタルデバイド解消
- ・地デジ対策(CATV)

◆消防・防災事業

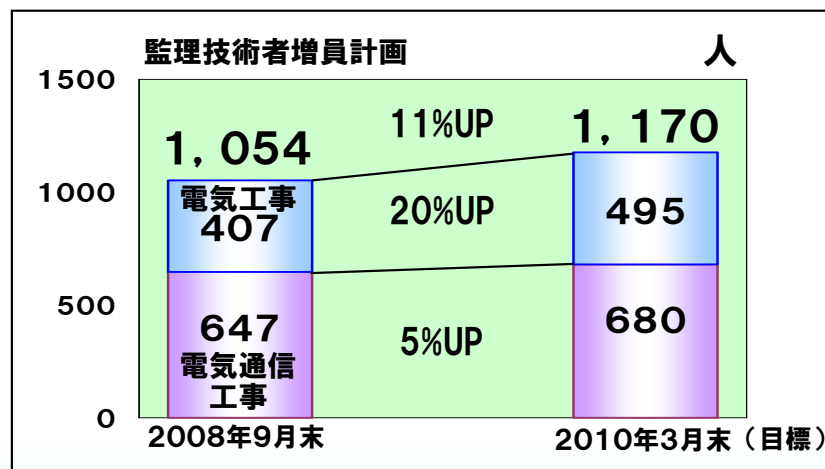
- ・消防の広域化進展
- ・防災無線のデジタル化



自治体マーケットへの対応力強化

◆監理技術者増強による施工体制強化

◆サポートサービス基盤活用による保守体制強化



保守サービスのレベルアップ

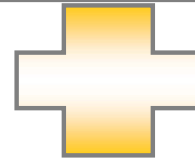
運用機能集中化による対応スピードアップ



● AC-I+活動加速

マネジメントイノベーションによる事業拡大・収益向上

基本活動の定着(All Cost Innovation)



マネジメント先導型の作業／業務プロセスの改革
(All Cost & *Management Innovation*)

◇ 営業スタイルの改革(受注拡大)
下期受注高計画(前年同期比:10%増)

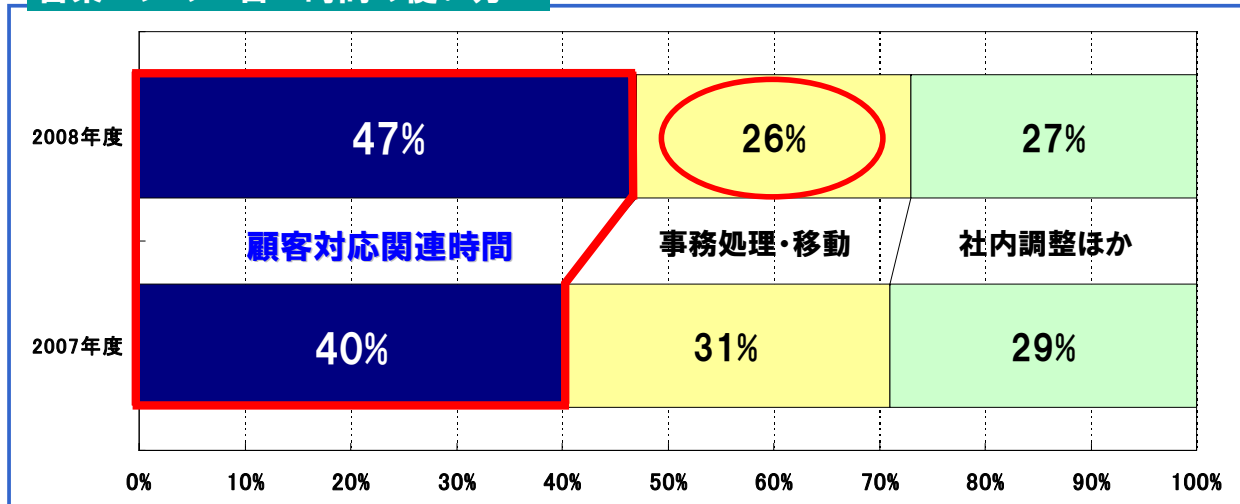
◇ 生産プロセスの改革(収益性向上)
全社GP率(07下期:13.8%⇒08下期:14.1%)

『AC-I+活動』

営業スタイル改革活動(受注拡大)

オフィスのEmpoweredOffice化による営業力強化

営業マンの一日：時間の使い方



社内EO化効果

社内外情報アクセスシームレス化、サテライトオフィス導入により
事務処理・移動時間削減

営業効率UP: お客様対応関連時間 **約15%増加**

受注拡大

生産プロセス改革活動(収益性向上)

総合SIセンターによるSIプロセス改革拡大

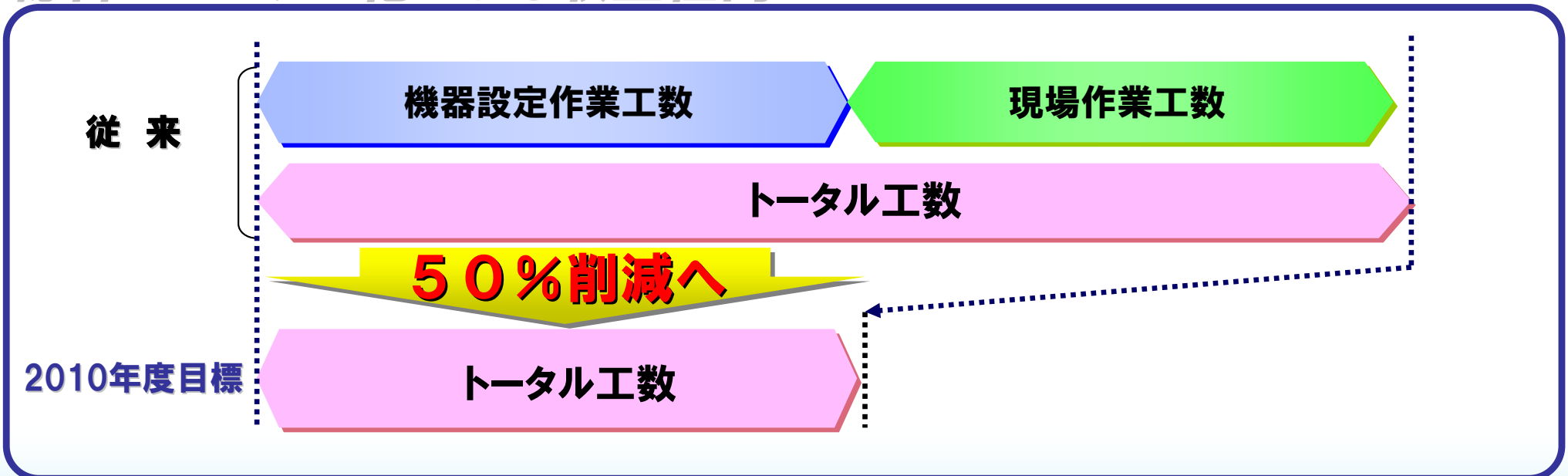
技術領域拡大

テレフォニー領域+ネットワーク領域(ルータ等)

エリア拡大

首都圏から全国対応へ

総合SIセンター化による収益性向上



環境活動

- ⇒ 環境対策ソリューション強化(EO)
- ⇒ 本社ビルの省エネ対策強化
- ⇒ エコカーの導入、エコドライブの推進

社会貢献

- ⇒ 「海底地震観測」立上げに貢献
- ⇒ 「南極観測隊」への派遣
- ⇒ 地域ボランティア活動

情報発信の強化

- ⇒ 当社Webサイトにて情報開示
2008. 10. 1 リニューアル
(詳細は次頁参照)

◆当社Webサイトにて情報発信



※2008. 10. 1 リニューアル

◆環境活動

品川区エコクリーン事業所認定



★営業車の
エコカー切替え
2012年度 100%

◆ボランティア活動

★特別養護老人ホームの
クリスマス会にフラダンスを披露
フラダンス部 2004年から出演中



◆社会貢献

「海底地震観測システム」の
設計・埋設工事・保守まで
一括して気象庁に納入



★本社オフィスにおける省エネ見える化実施中



フロアでの電力消費状況を社員が
目に付く位置にビジュアル表示



◆海外現地法人での活動

「空き缶を集めて障がい者に義足を贈ろう」
プログラムに参加



◆災害支援活動 余剰カレンダーおよび手帳の有効活用



★日本災害救援ボランティアネットワークおよび
札幌ユネスコ協会が主催するカレンダーリサイクルに寄付

「南極観測」 第50次越冬隊員



★NEC ネットズエスアイと「南極観測」の関係
1987年の第29次越冬隊から参加し、昭和基地にある
多目的大型アンテナ受信システムの設置工事・現地調整を
行って以来、毎年越冬隊員を派遣してシステムの運用や
保守業務を行っています。

2009年3月期の配当予想

	1株あたりの年間配当金(予想)		
		第2四半期末 (実施済み)	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
2009年3月期	22.00	11.00	11.00

※2008年5月14日決算発表時に公表した配当予想と変更ありません

[参考]2008年3月期の配当

	1株あたりの年間配当金		
		第2四半期末	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
2008年3月期	20.00	10.00	10.00

**不透明な事業環境なるも、
増収増益を目指します**

NEC

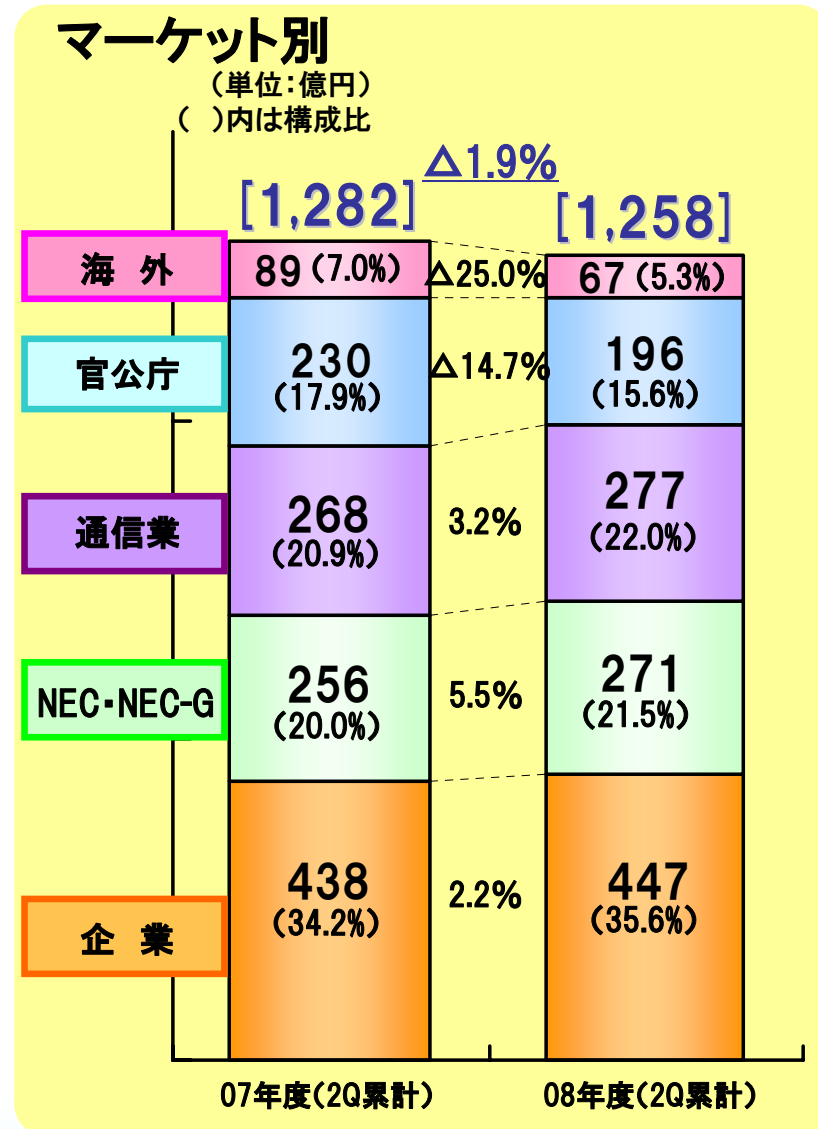
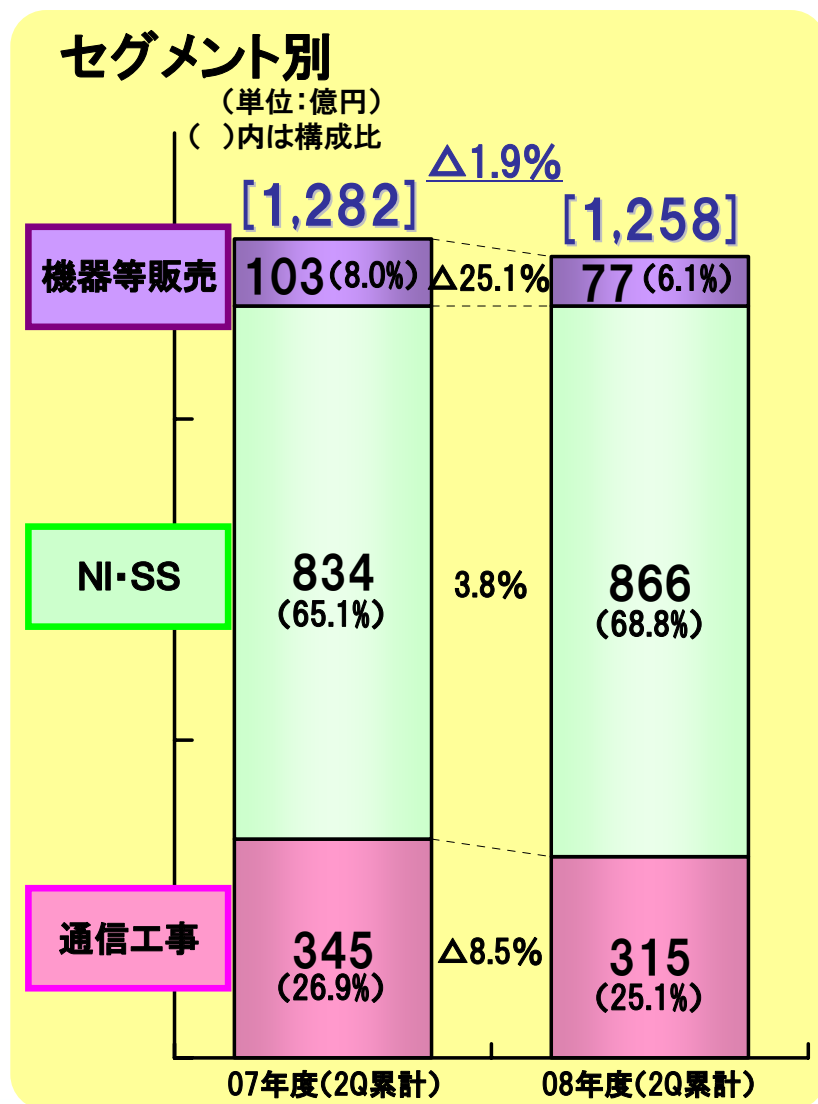
NEC ネットワークエスアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp

(参考)連結受注高

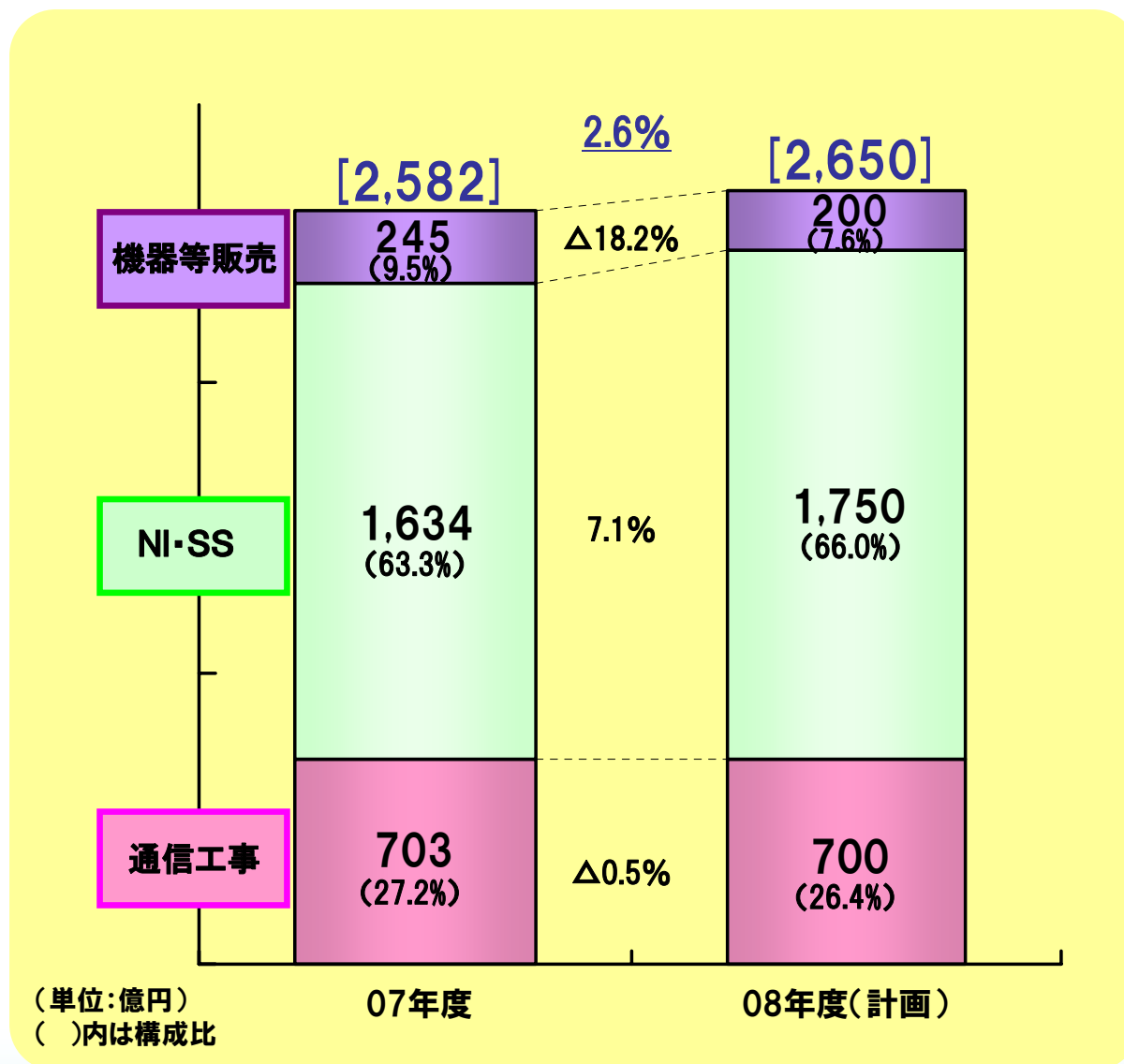
・NI・SS事業が、企業、通信業を中心に拡大



※ NI・SS:ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業

(参考)連結売上高計画(通期・セグメント)

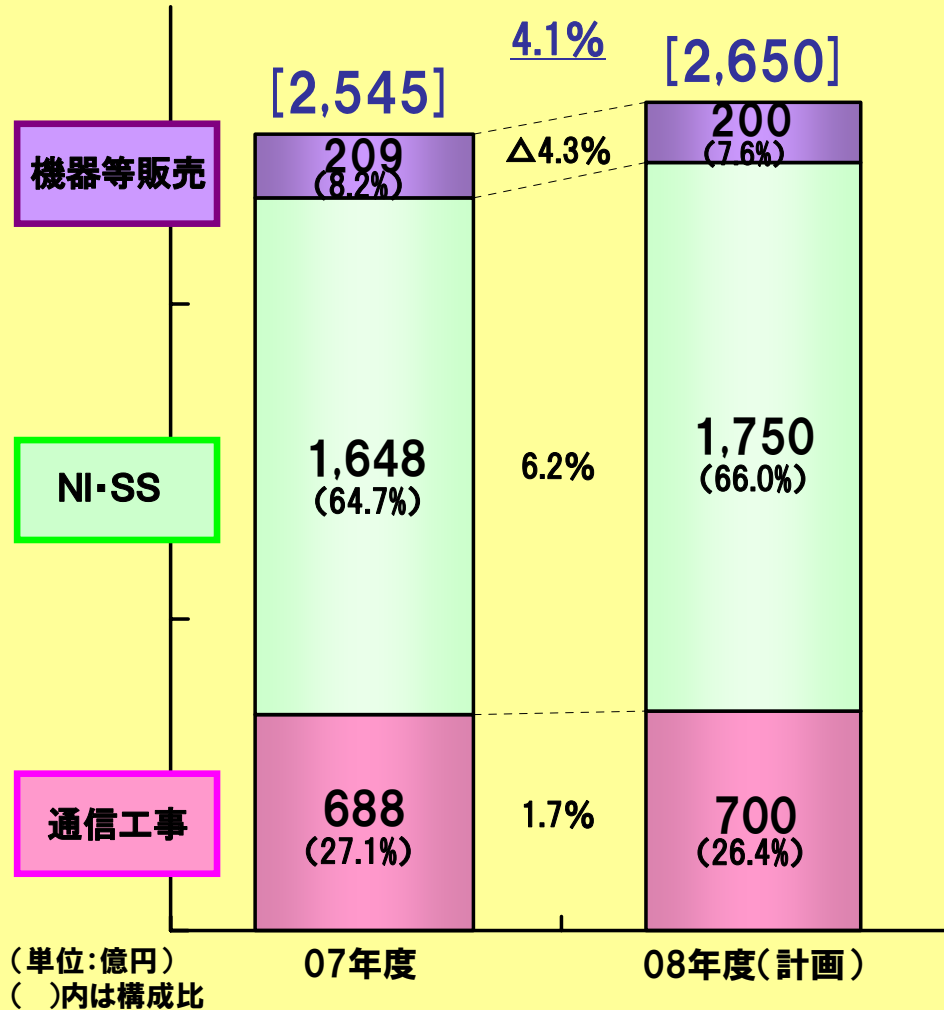
- 引き続き、企業向けソリューション事業、NGN事業加速によりNI・SS事業を拡大



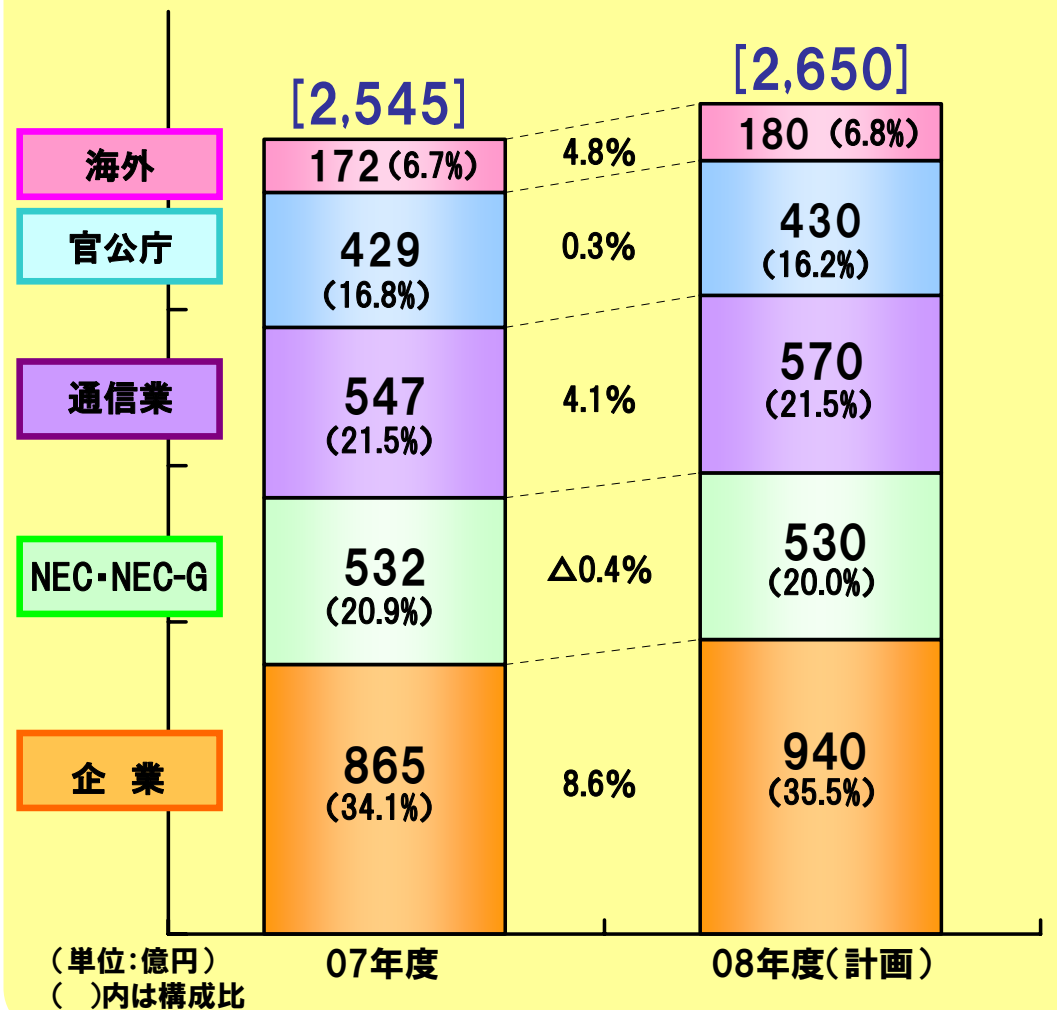
(参考)連結受注高計画(通期)

・引き続き、企業向けソリューション事業、NGN事業強化により
NI・SS事業を拡大

セグメント別



マーケット別



(参考)最終得意先別 連結売上高

(単位:億円)

	07年度(2Q累計)		08年度(2Q累計)		比較増減	
		構成比		構成比		増減率
官公庁	146	12.4%	166	14.4%	20	13.7%
通信業	280	23.8%	252	21.9%	△28	△9.9%
固定系	39	3.3%	40	3.5%	1	3.1%
電力系	21	1.8%	11	1.0%	△10	△47.4%
移動体系	148	12.6%	134	11.6%	△14	△9.4%
その他(NTT系など)	72	6.2%	67	5.9%	△5	△7.0%
NEC・NECグループ	252	21.5%	248	21.5%	△4	△1.6%
金融業	94	8.0%	67	5.8%	△27	△28.9%
流通・サービス業	103	8.8%	94	8.2%	△9	△8.3%
放送業	56	4.8%	58	5.1%	3	4.6%
企業	164	14.0%	187	16.2%	22	13.5%
海外	79	6.7%	79	6.9%	0	0.1%
合計	1,174	100.0%	1,151	100.0%	△23	△1.9%

本資料についてのご注意

本資料(「2008年度(第2四半期連結累計期間)決算説明会」)に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないため、リスクや不確定要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

また、当四半期より会計基準を変更しておりますが、前年同期比につきましては、影響が軽微なため本資料では、参考数値として表示しております。

会計基準変更内容につきましては「平成21年3月期 第2四半期決算短信」7ページ「4. その他 (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載しております。

NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社
NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp